

## 刊行にあたって

健康で心豊かな生活を送るために歯や口（口腔）の機能の重要性が認識されてきています。口の機能を損ねると食生活や社会生活に支障をきたし、全身の健康にも影響を与えます。

口腔の2大疾患のう蝕や歯周病は、特定保健用食品や栄養機能食品（いわゆるサプリメント）のなかで抗菌作用をもつ食品や、代謝性改善食品がこれらの疾患の予防に有効である報告が多数あります。

海外では代替補完医療としてサプリメント（アミノ酸、ハーブ製品、ミネラル、ビタミン）が日本よりもっと盛んに医療の現場で使われています。また、サプリメントの有効性や安全性が科学的に証明されるようになり、日本でも急速に普及しています。さらに毎日のようにサプリメントがテレビや新聞等で紹介されています。

一方、最近になり、口の渇き、味の異常、口の臭い、舌の痛みを訴える患者さんと多く出会うようになりました。

これらの症状に対して、私が受けた歯科医学教育では、口腔乾燥症には唾液を分泌する副交感神経刺激薬や、口内炎や舌痛症には炎症を抑制するステロイド剤、味覚障害には味細胞に影響を与える高濃度の亜鉛を含有する薬剤を投与することを基本としておりました。

しかし、サプリメントを用いての治療法の医学教育は少なかったと思います。それゆえ、本書は、お口の悩みをもつ方、および歯科医師をはじめ、医師、薬剤師などの医療関係者にお読みいただくためにサプリメントについてまとめたものです。

サプリメントの総論（うんちく学）を基礎、臨床医学からもとらえ、そして、口腔の疾患別に、日々サプリメントを診療室で用いている全国の先生が集結し、サプリメント療法を紹介しました。

また、本来、サプリメントは食品であり口から摂取するものですが、本書では、オゾンクリームなどの軟膏や塗布物も、広義にサプリメントとしました。

本書が、皆様の歯と口の健康力を高めることができれば本望です。

2010年9月

口腔内科学者  
歯科医師・歯学博士 王 宝禮